

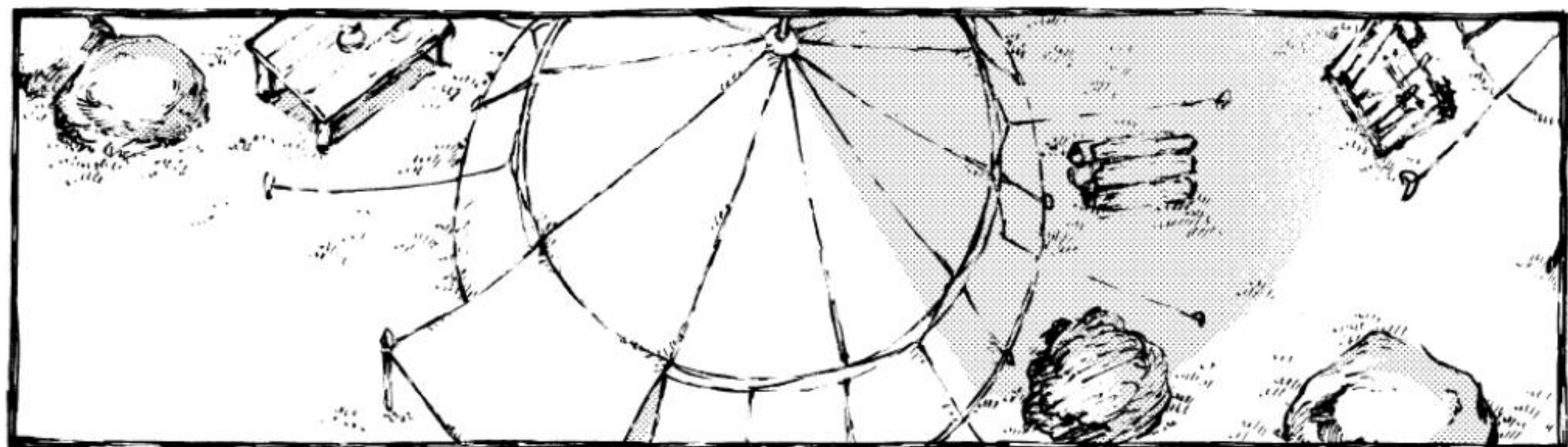
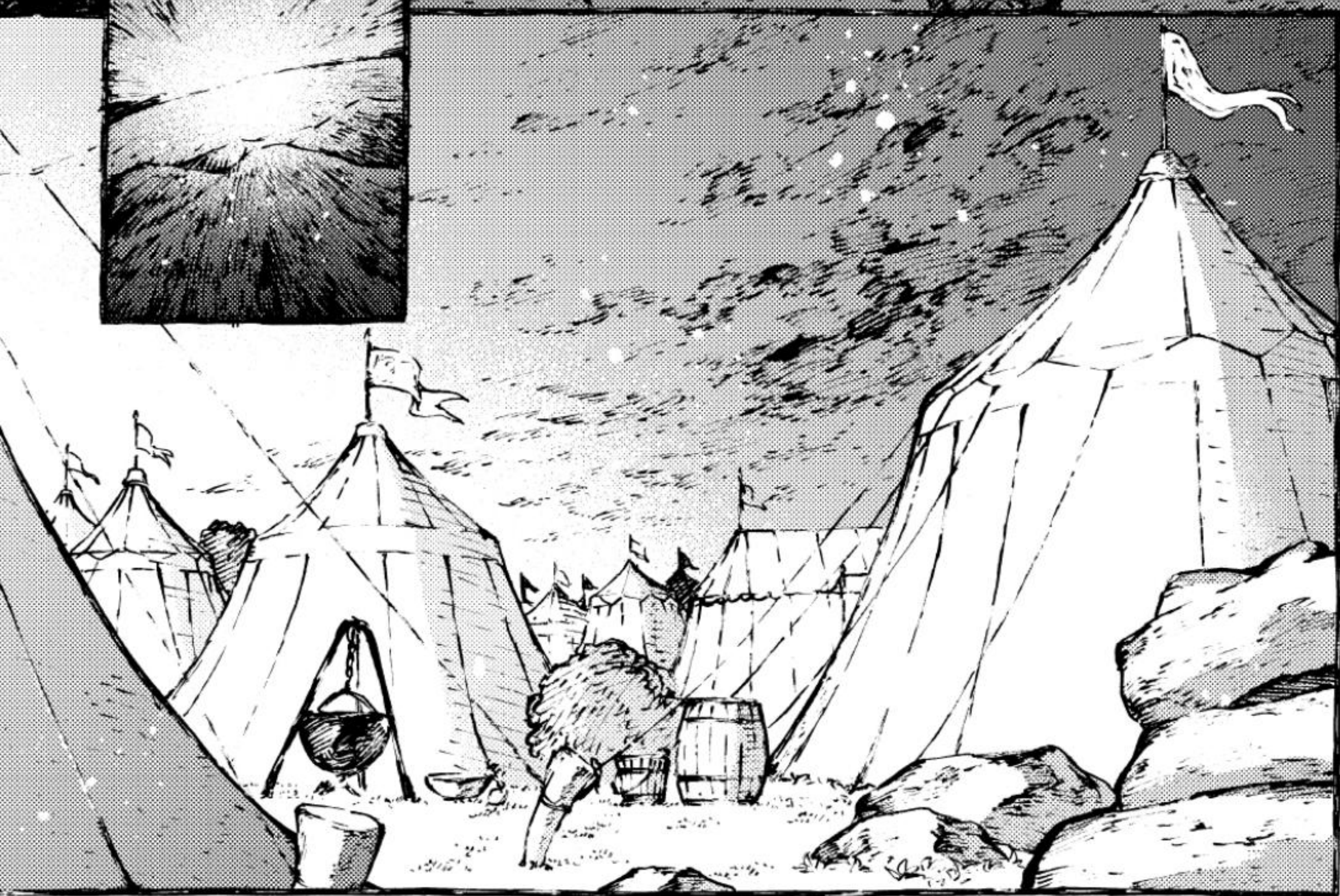
25

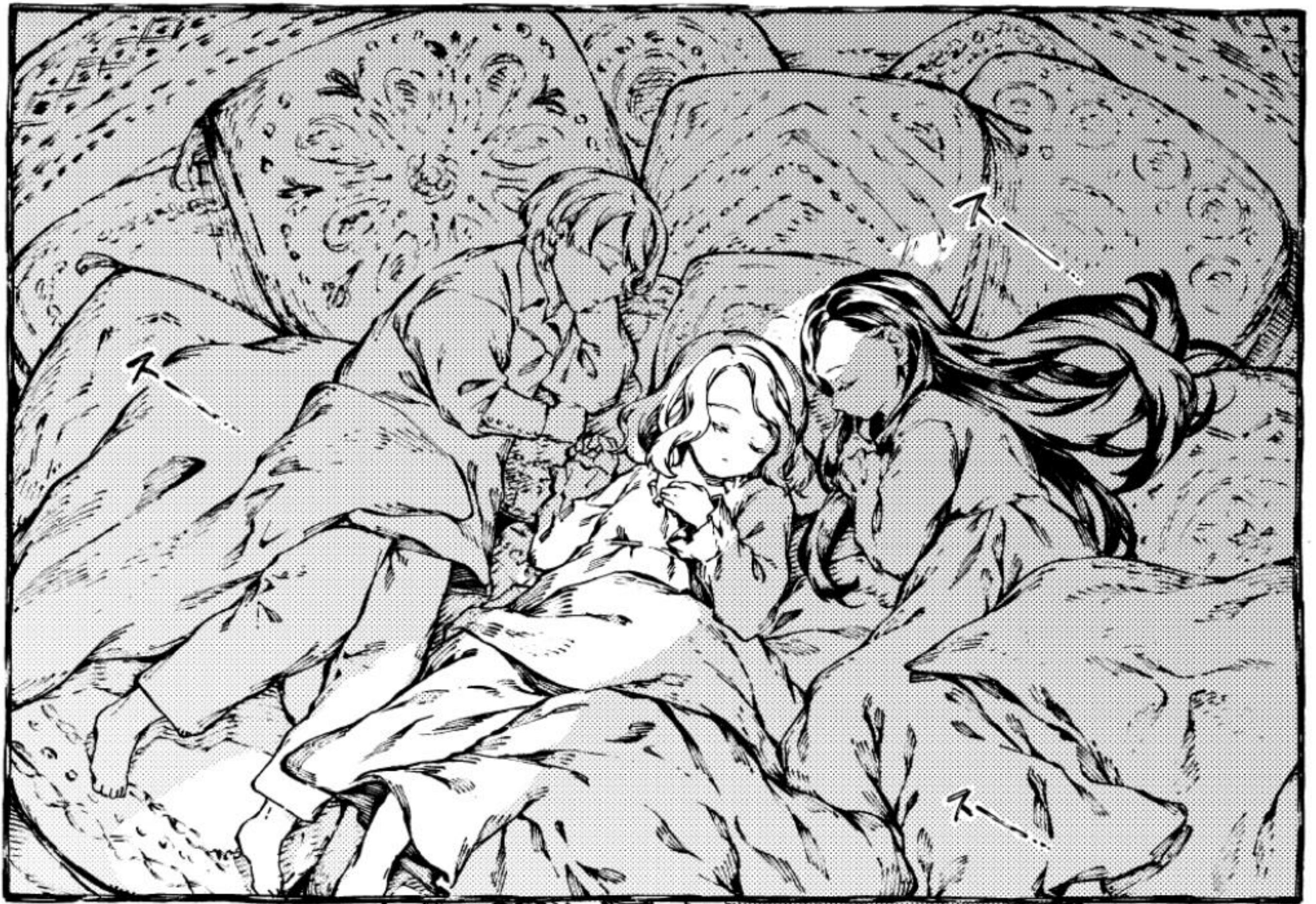
ナルニア国物語 2

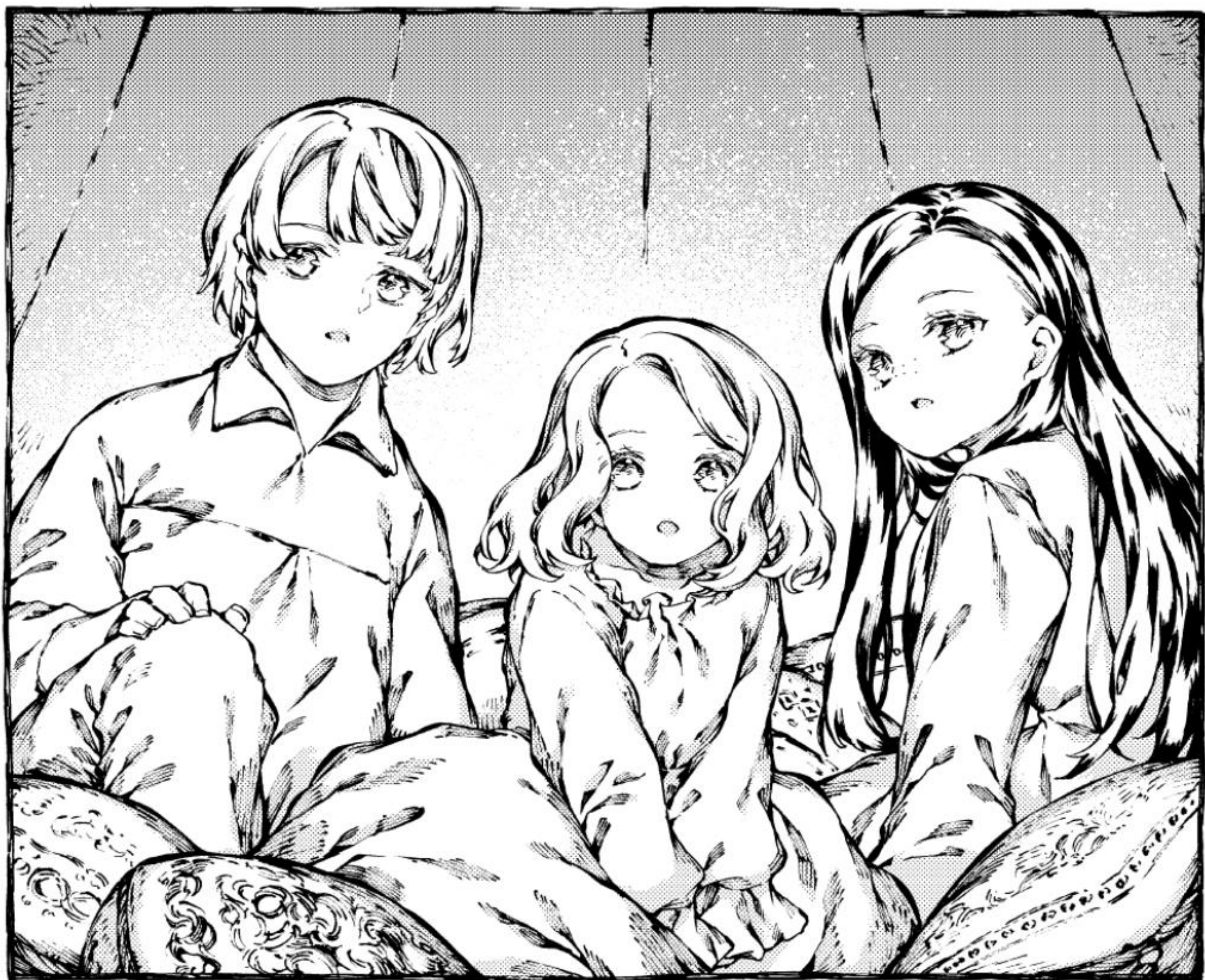
ライオンと魔女と衣装だんす

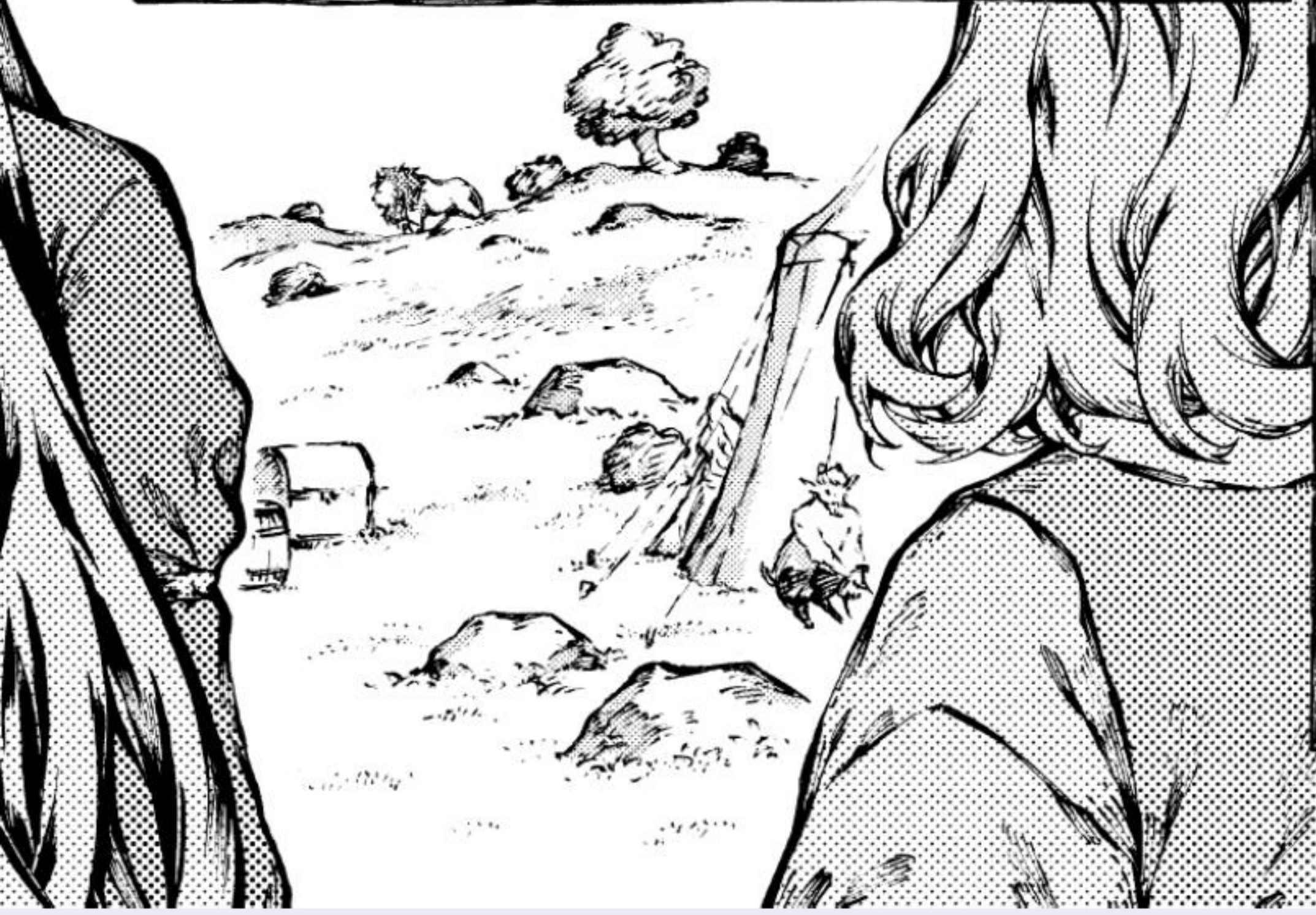
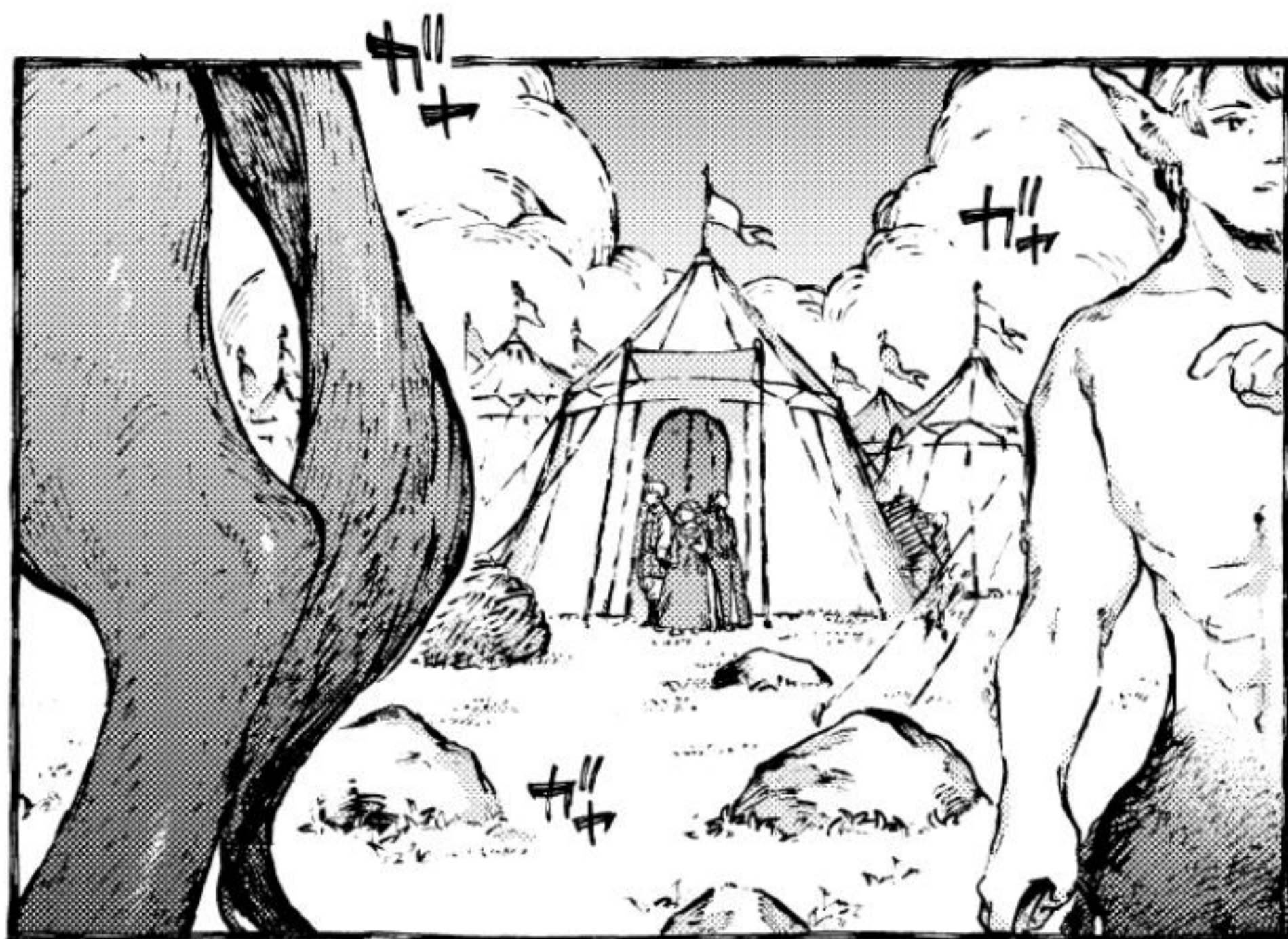
C・S・ルイス 土屋京子・訳 玉樹庵・画
(光文社古典新訳文庫刊)

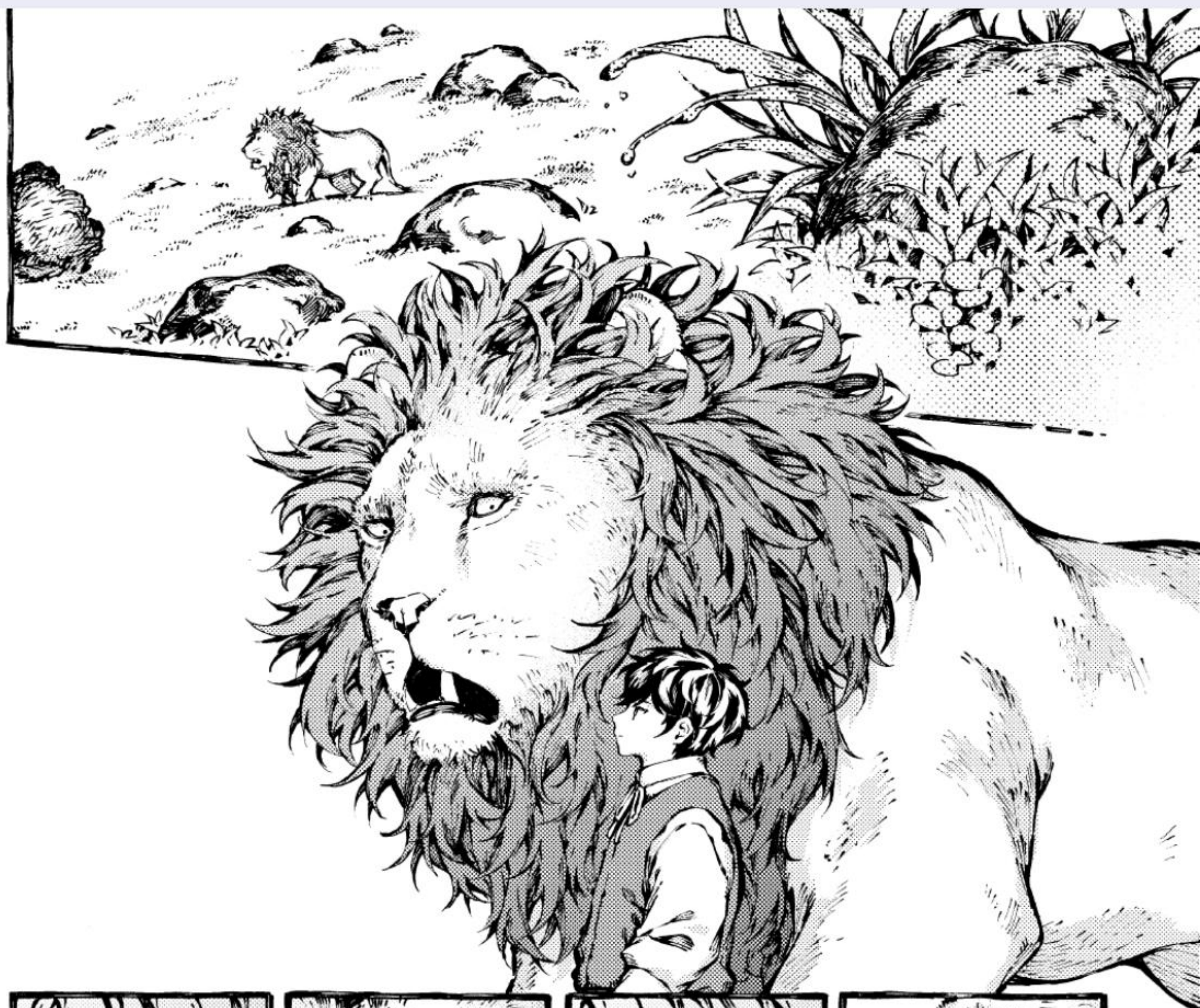
第25話 いにしえの魔法(後編)

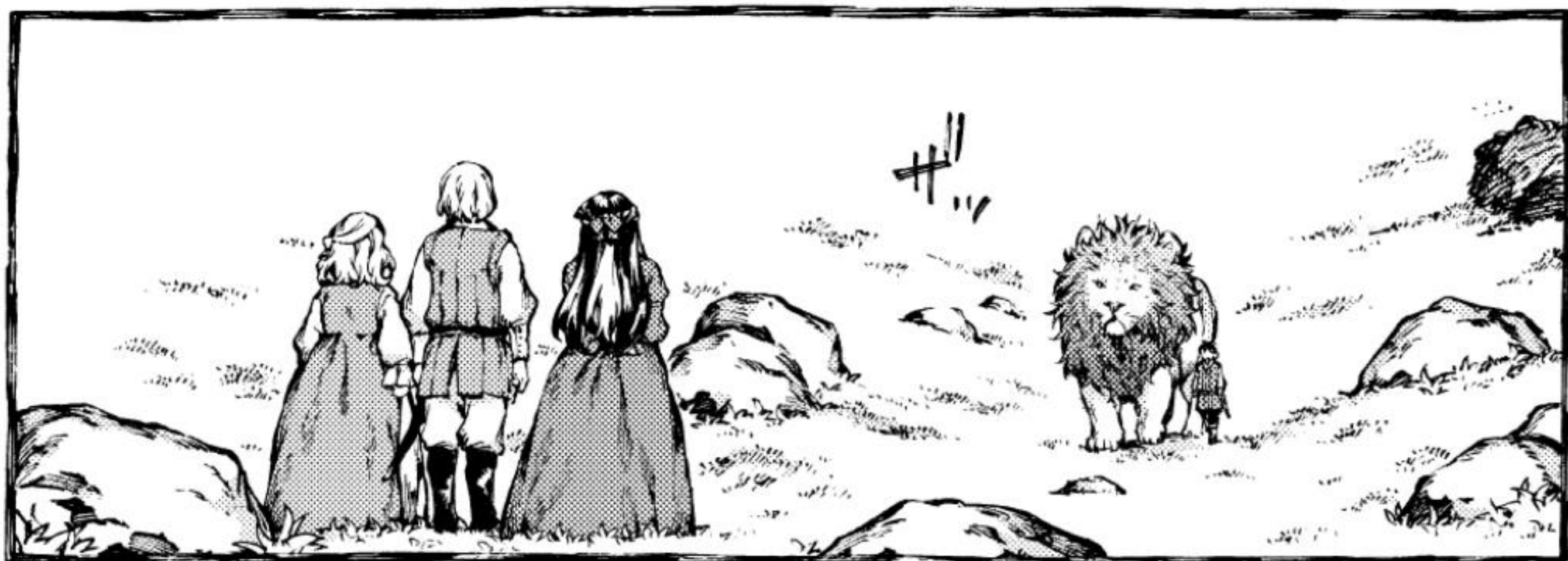








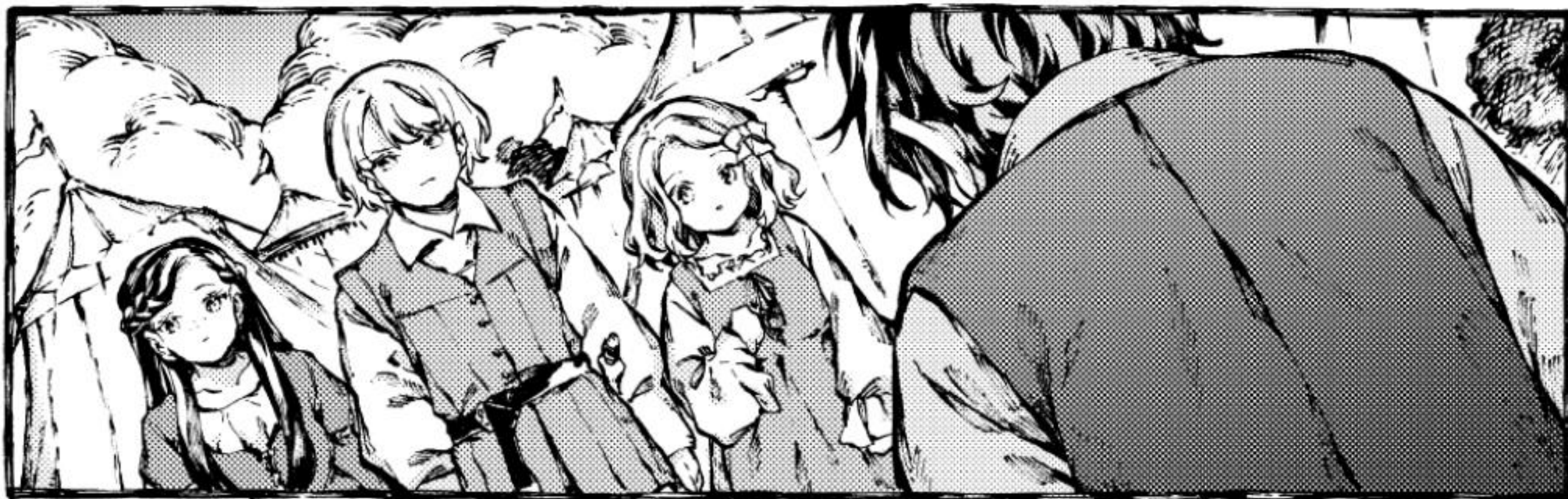




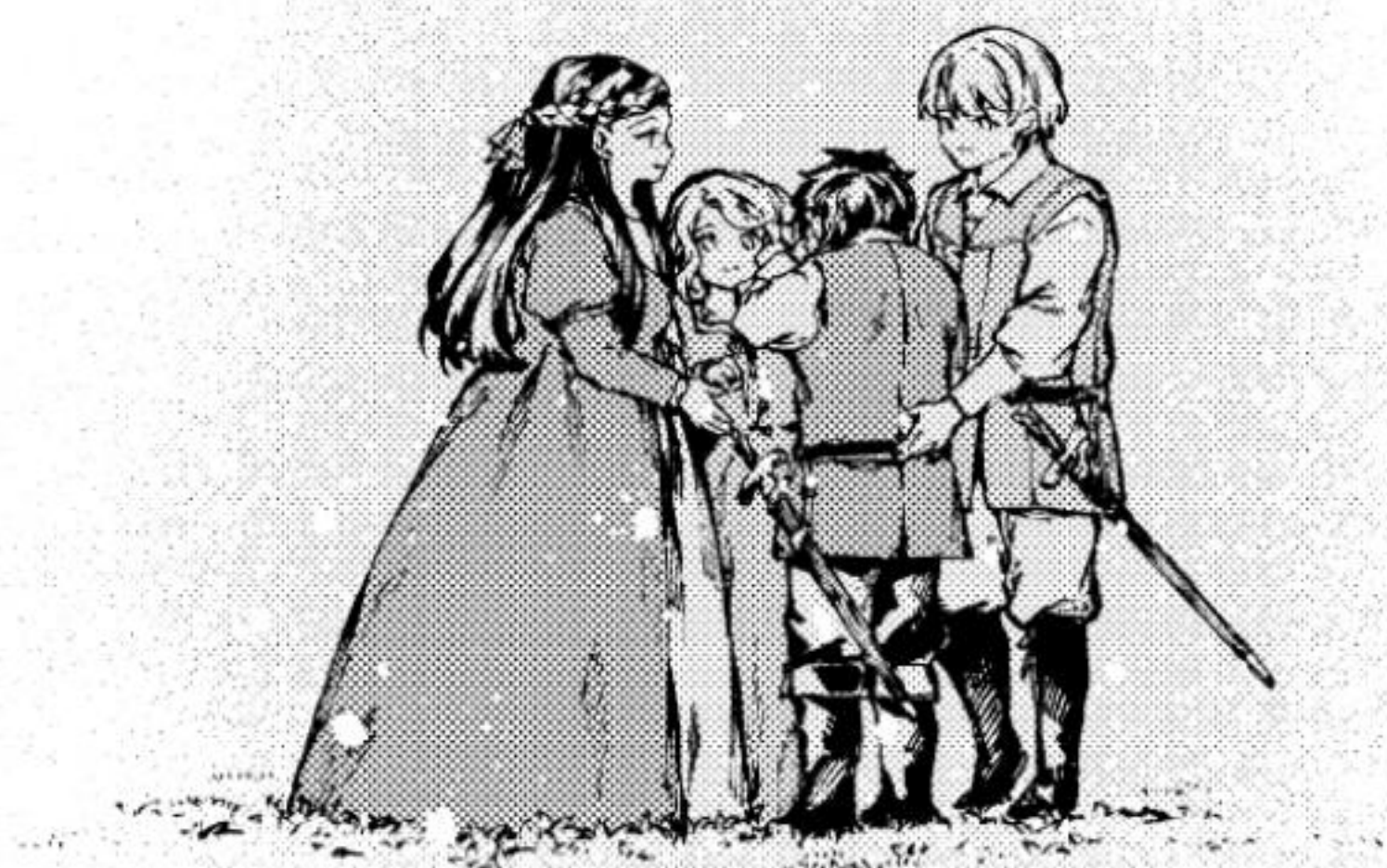
過ぎたことを
話す必要はない



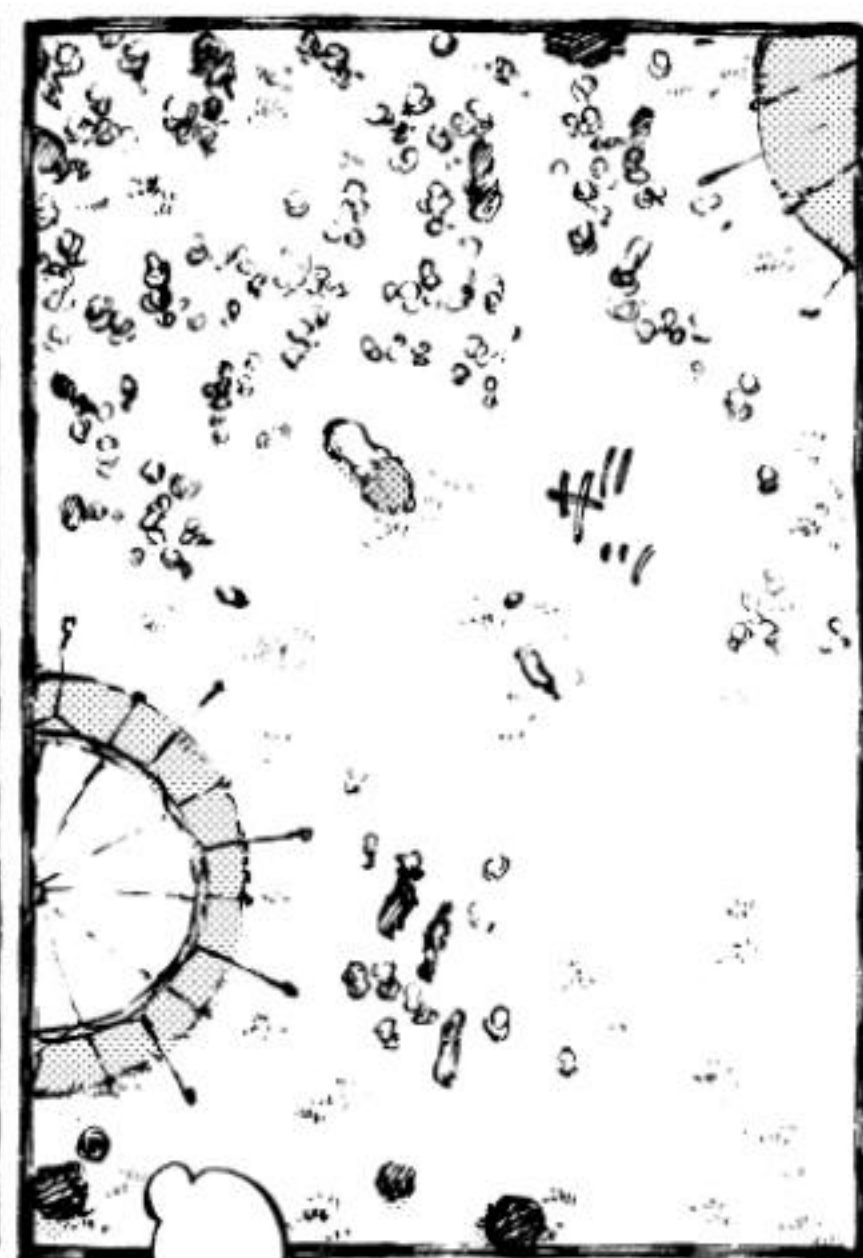
あなたがたの
きょうだいだ











使者の
口上は
何か

地の
息子よ？



ナルニアの女王にして
離れ島諸島の女帝で
あらせられる
ジェイデイス陛下は

陛下と
アスラン閣下の
双方にとって
お互いに有益なる
案件について
二者で会談するため

安全通行権を
お望みで
おられます







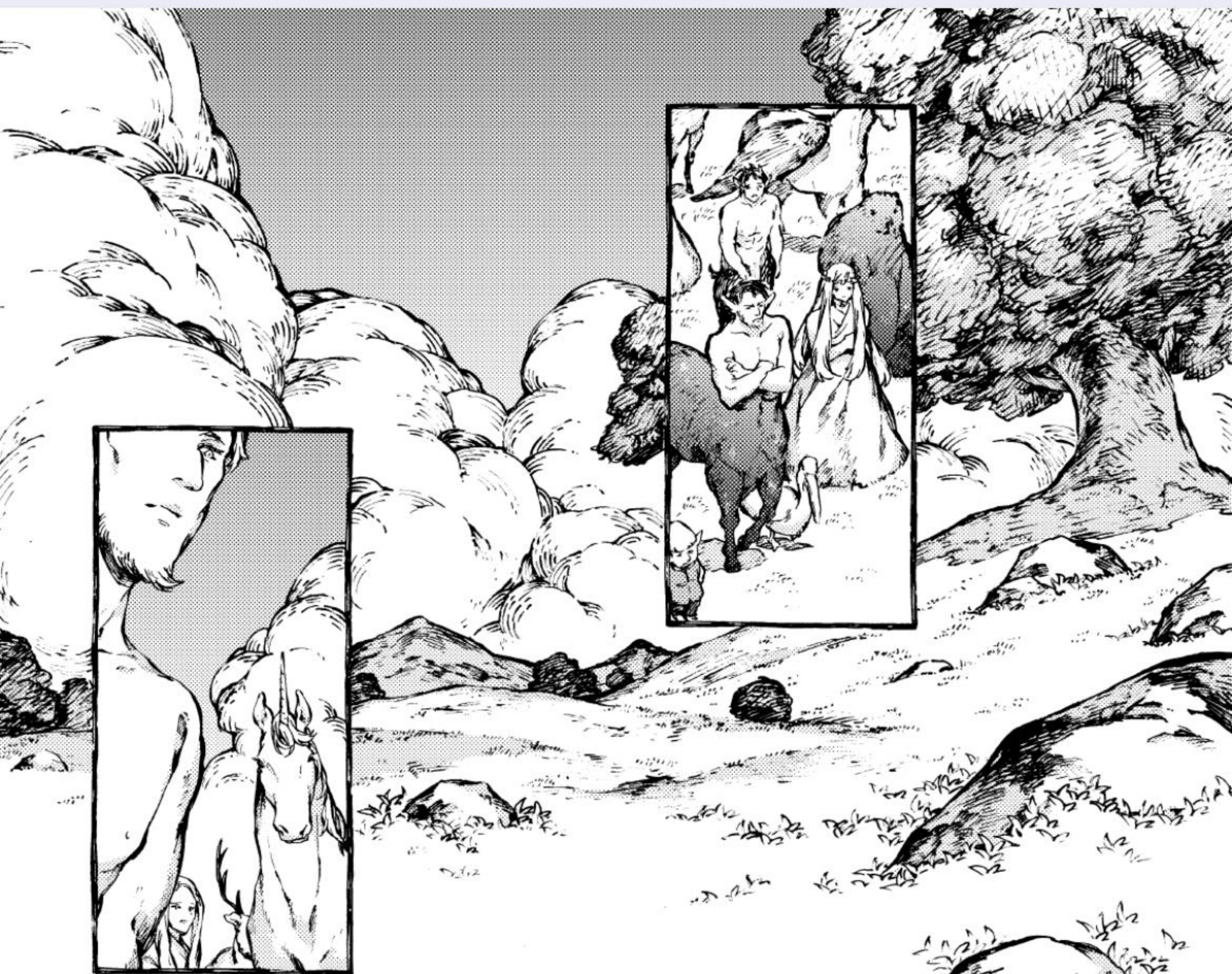
彼らが
ドワーフに
同行して

約束が正しく
守られるかどうか
確かめるそうだ

あのオークの
大木のもとに
魔法の杖を
置いてくるので
あれば

安全な通行を
保証しよう



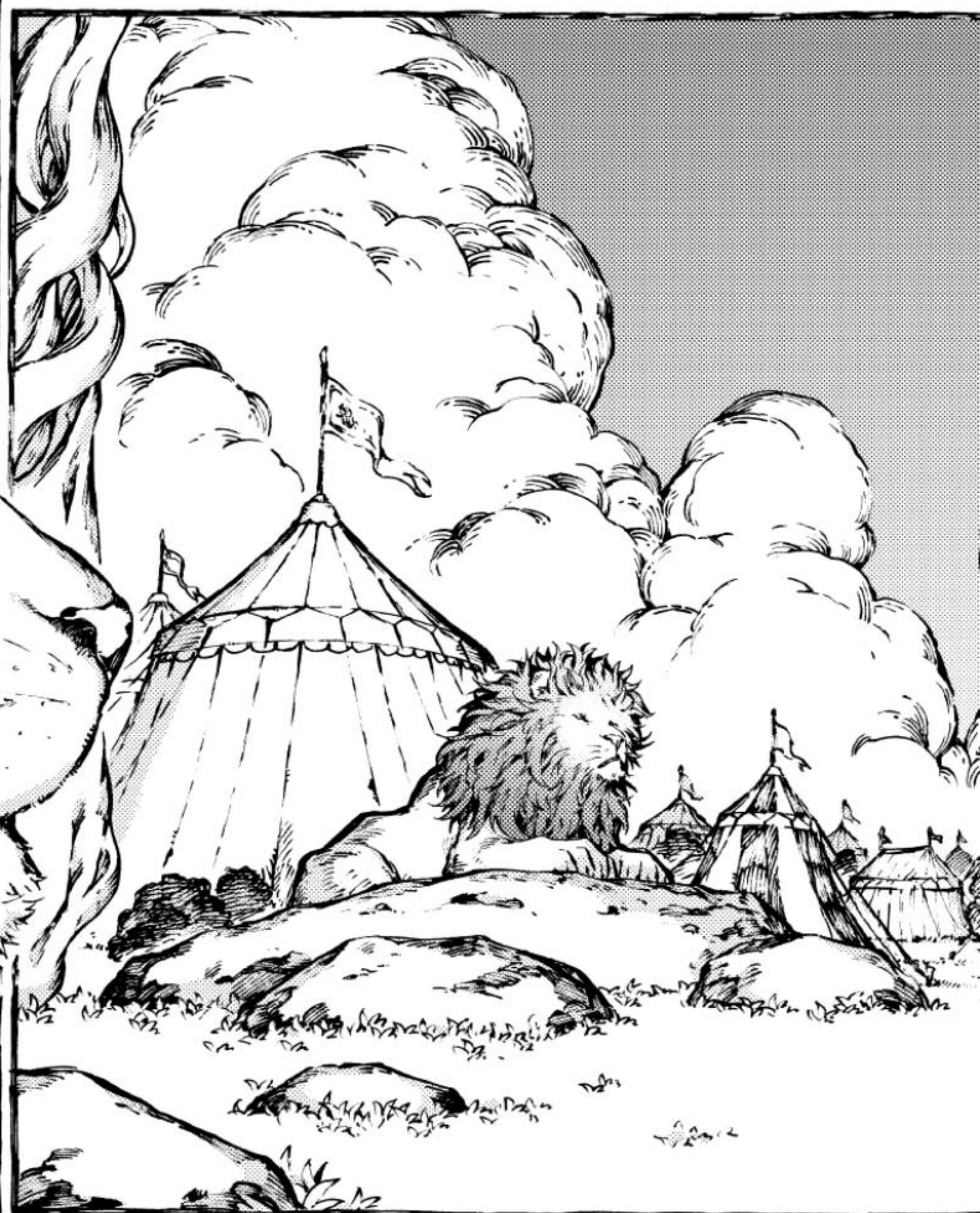










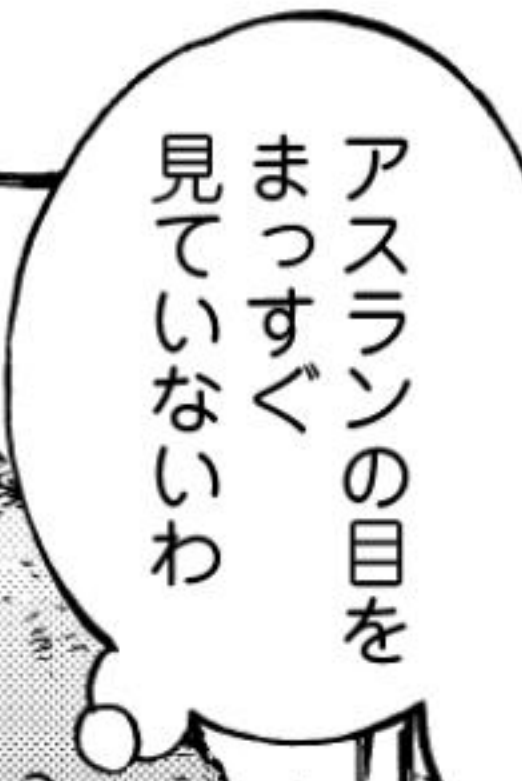




...あの女



平気な顔を
しているけれど



アスランの目を
まっすぐ
見ていないわ



そこに
裏切り者が
おるではないか



アスラン



どうかな

忘れて
しまったかも
しれない

その
へいにしえの
魔法とやらに
ついて

教えて
もらおうか

エグッ

教えるだと？

すぐそこにある
〈石舞台〉に
刻んである文言を
説明せよと
言うのか？

〈秘密の丘〉の
火打ち石に
槍よりも深く
刻まれた文言を
説明せよと
言うのか？

大海原のあなたの
大帝が持つ王笏に
刻まれておる文言を
説明せよと
言うのか？



ナルニアの
誕生に際して
大帝が配した
魔法のことわりは

承知して
おろう

裏切り者は
ことごとく
わらわの手に落ち



わらわの
正当なるえじきと
なるのであり

すべての
裏切り者に対して
わらわが
その命を奪う権利を
握っておるのじゃ



ほう

それで

あんたは自分が
女王だなんて
思いこんでるんだな

——大帝の
死刑執行人を
請け負ってるから

したがって

そこにおる人間は
わらわのものじゃ

そいつの命は
わらわの手に
落ちたのじゃ

なるほど

黙りなさい

ビーバー

そいつの
血は

わらわの
ものじゃ





そんなら
取りに
来るがいい

愚か者め

おまえの主人が
力づくでわらわの
正当なる権利を
奪い取れるなどと

本気で考えて
おるのか？

おまえの主人は
《いにしえの魔法》を
知らぬほどの
愚か者ではない



わらわが
法の定めによつて
血のいけにえを
手にせぬかぎり

その
とおりだ

ナルニア全土が
くつがえり

火と水のうちに
滅亡するであらう
ことぐらい

承知の
はずじゃ

それは
否定しない



おお

アスラン!

……うそ
でしょう?

——
そんな

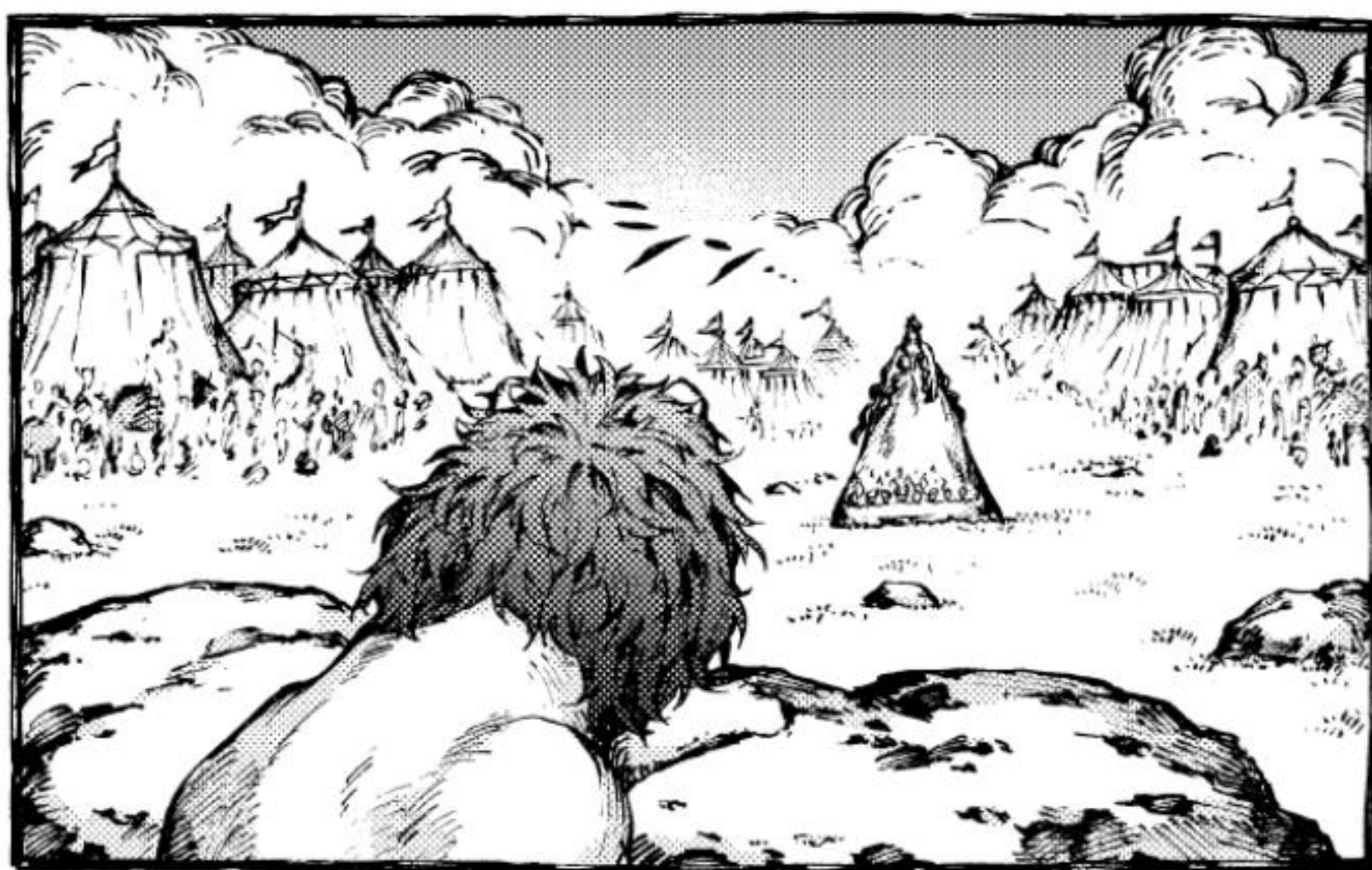
その
へいにしえの
魔法について

何か打つ手は
ないのですか?

へいにしえの
魔法を
打ち砕く方法
はないのですか?

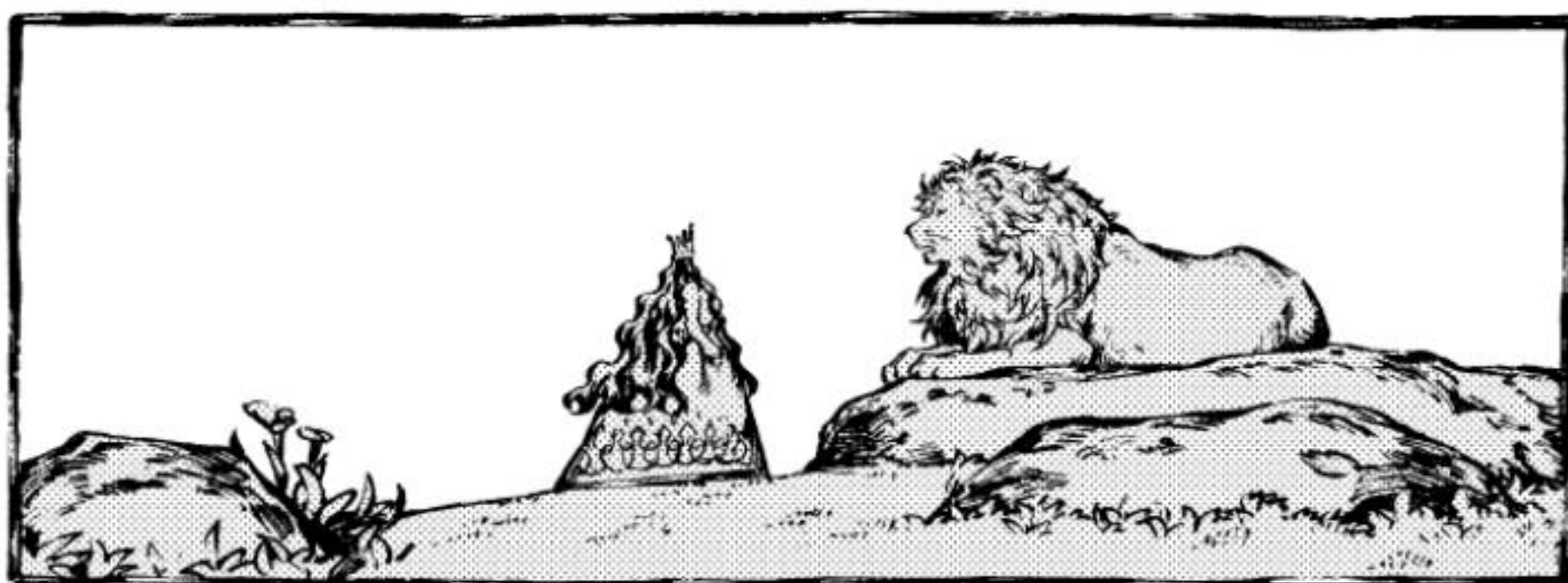
大帝の魔法を
打ち砕く

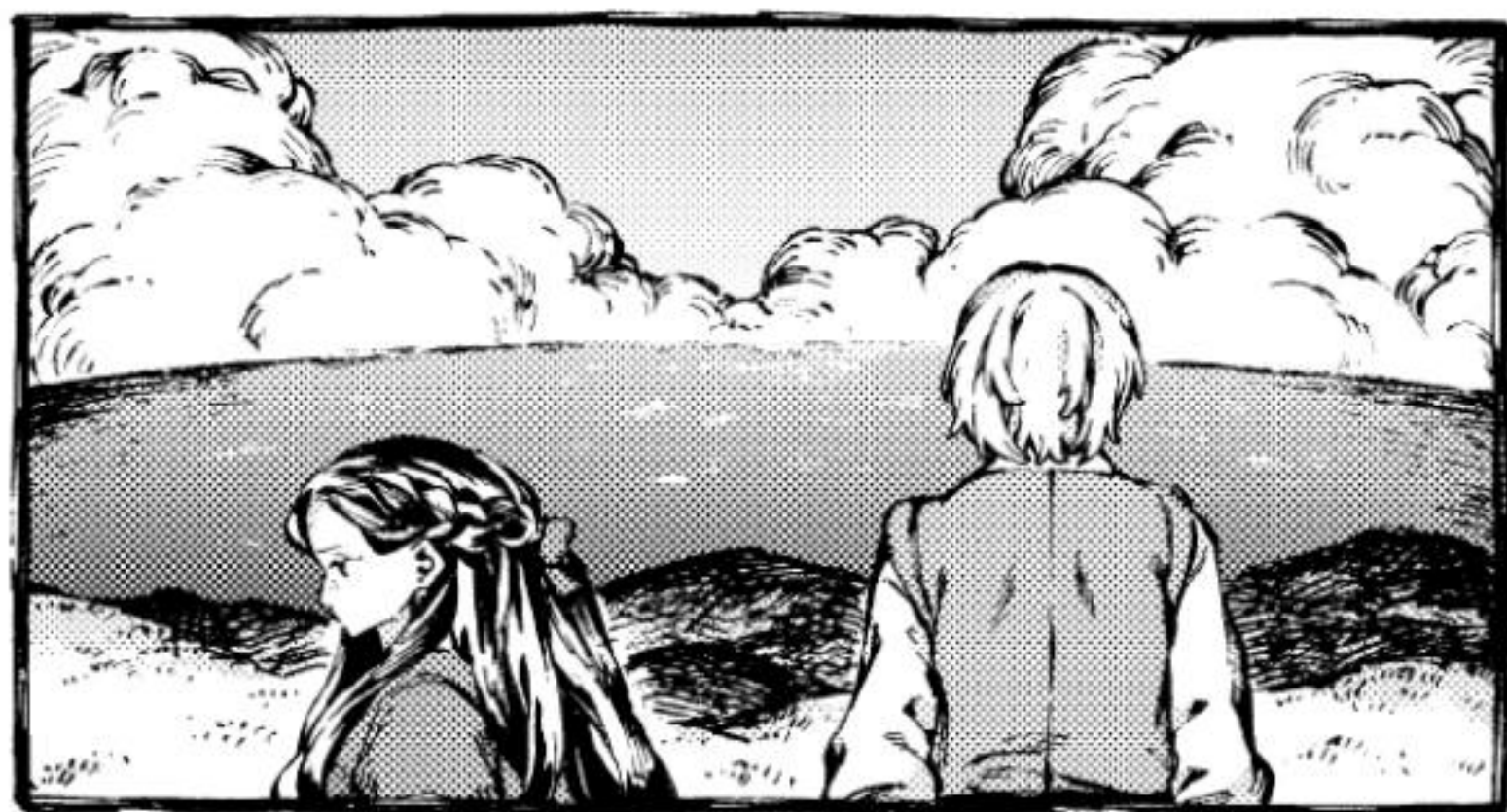
…と？

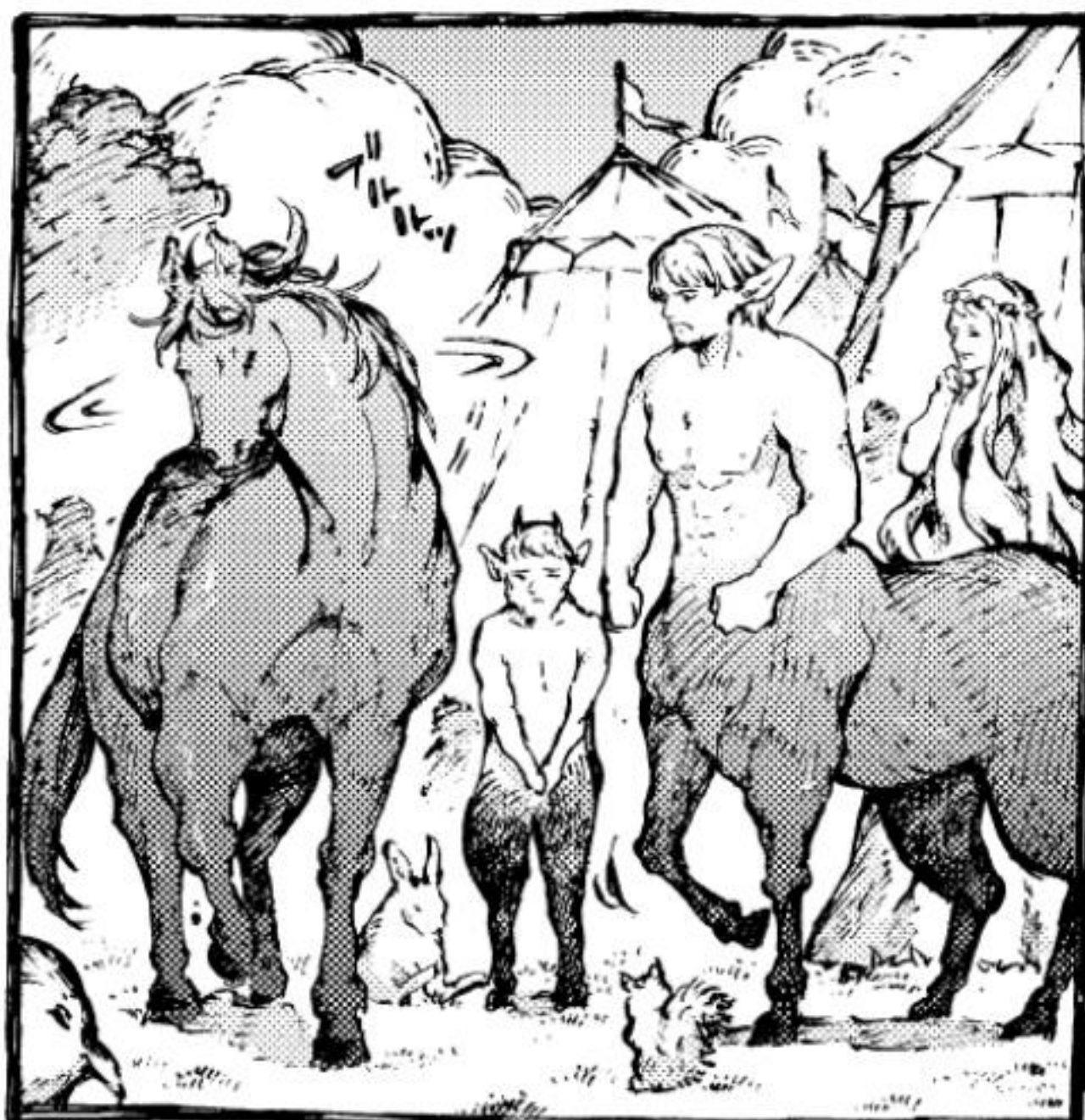


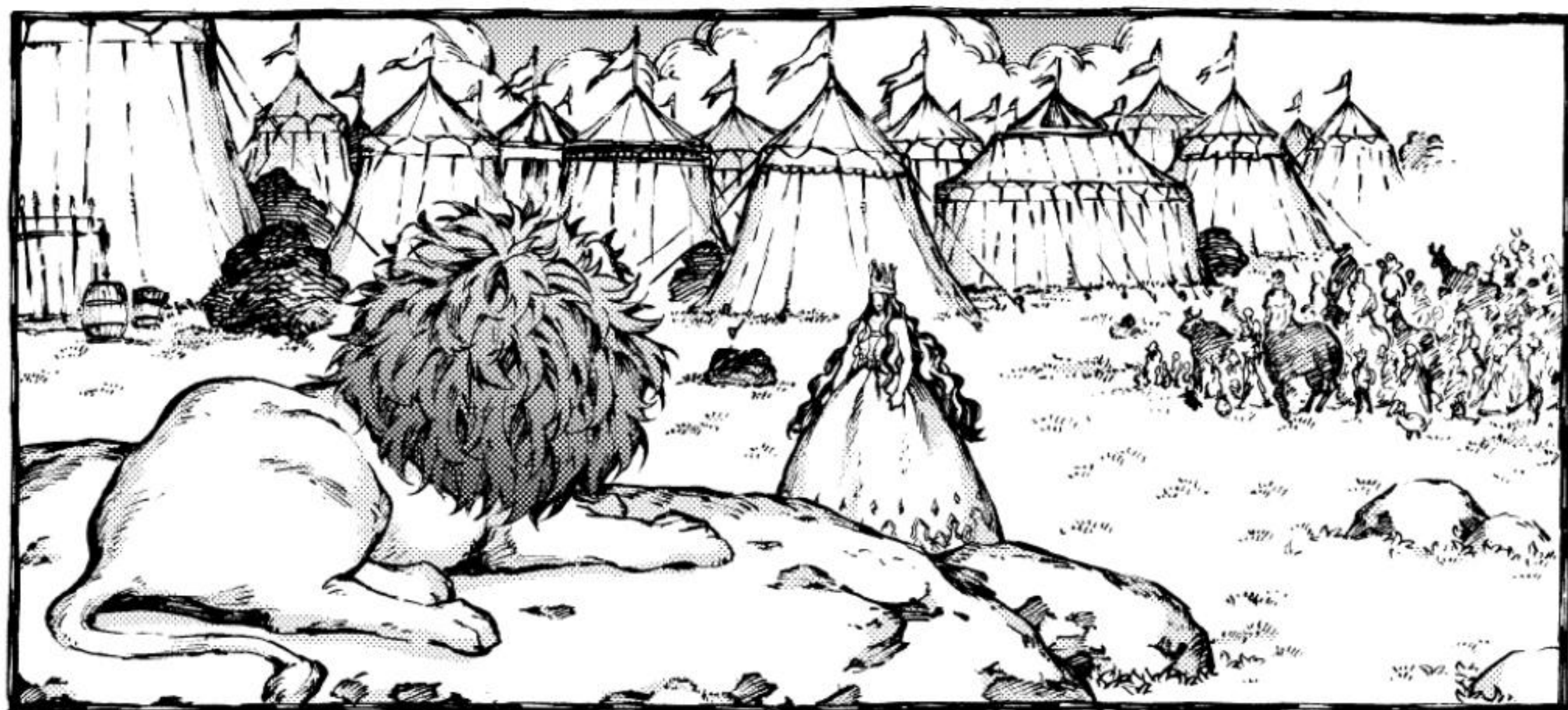








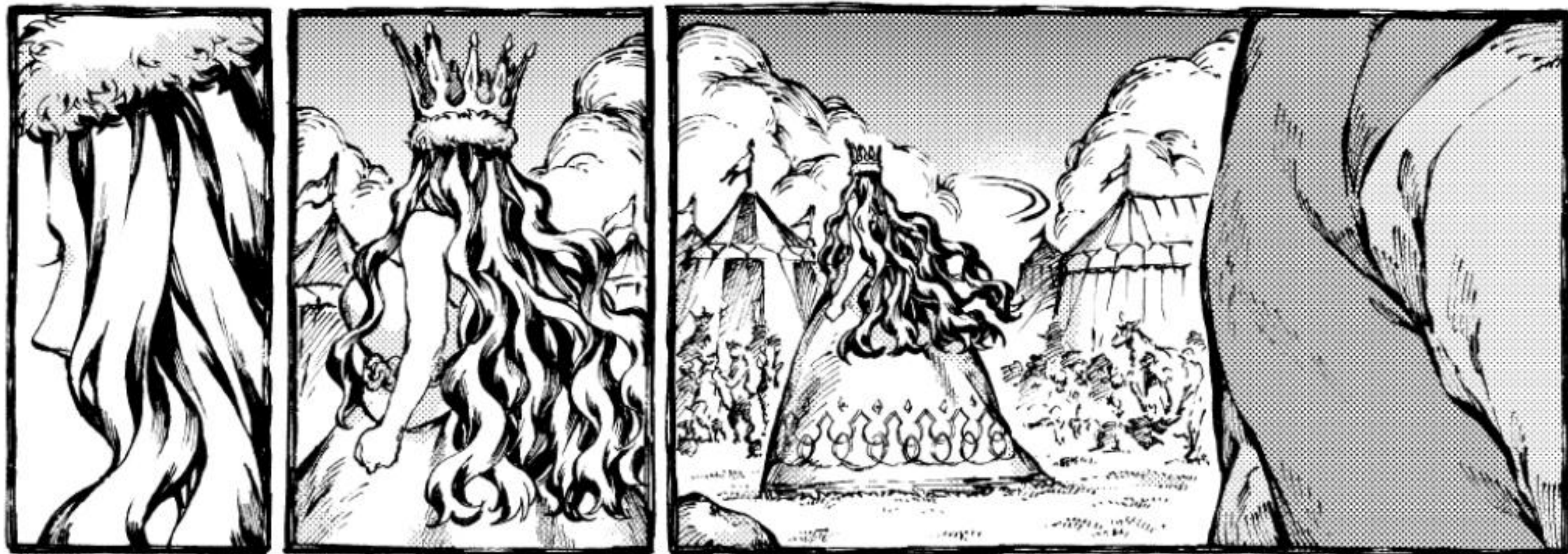
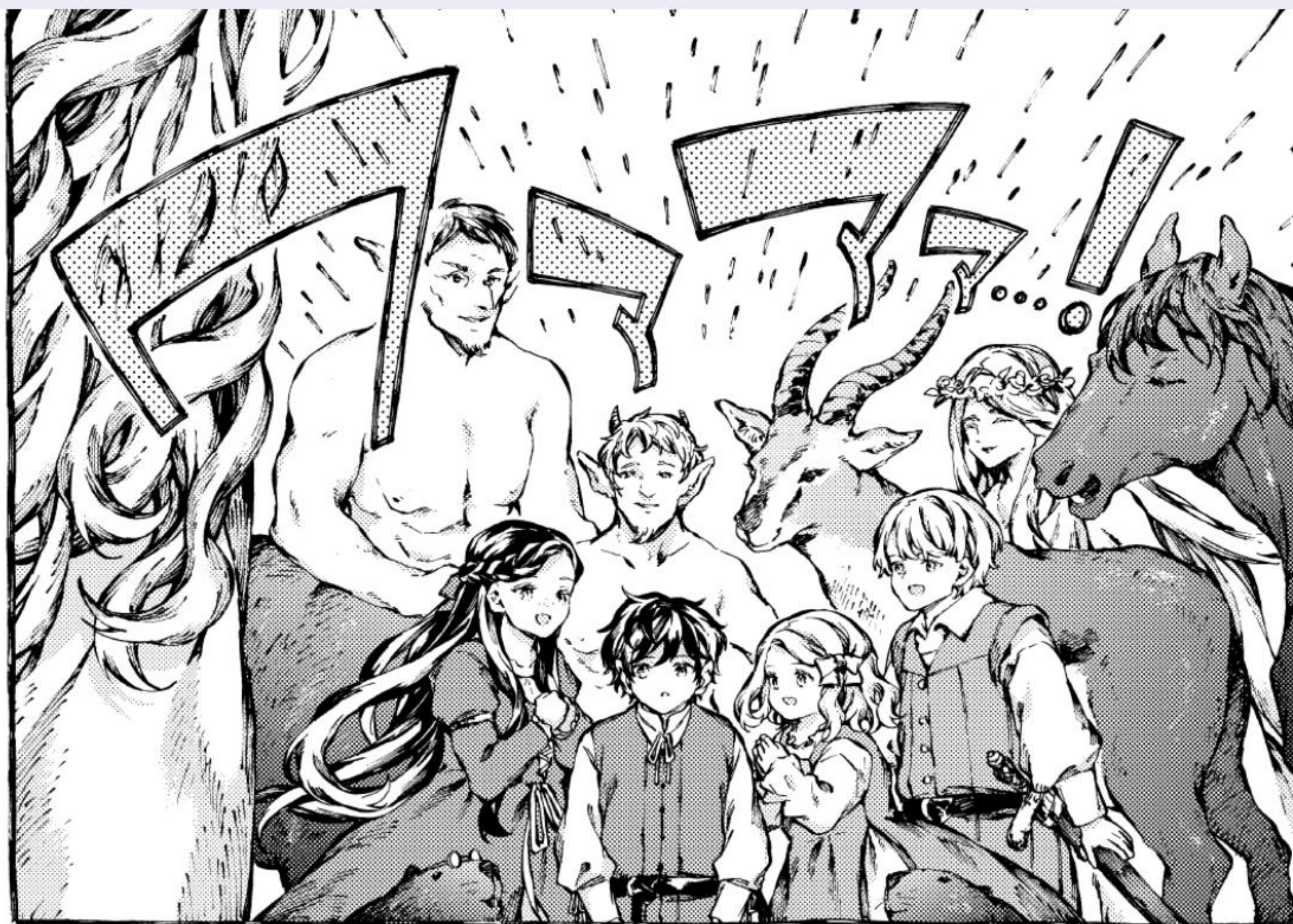


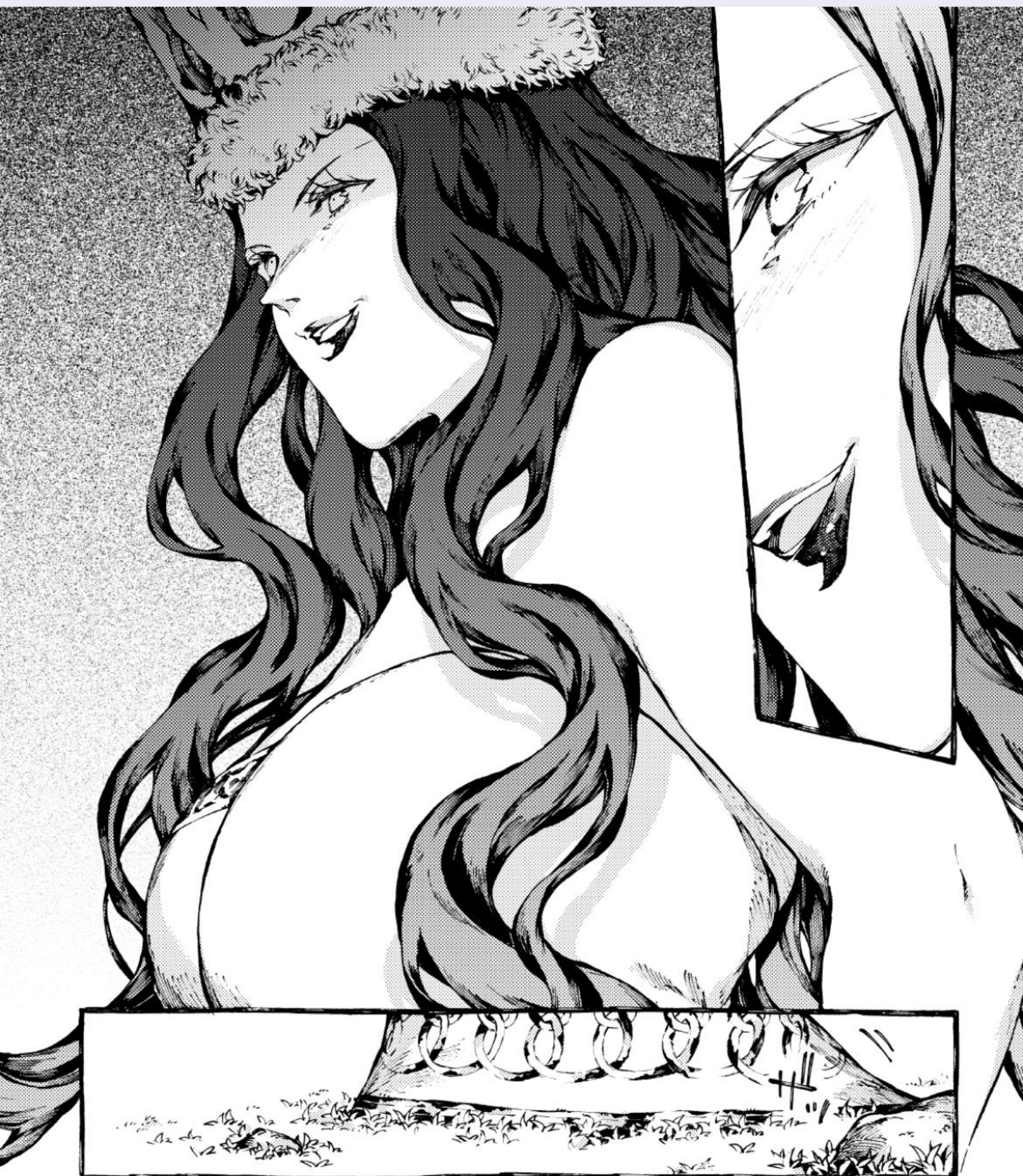


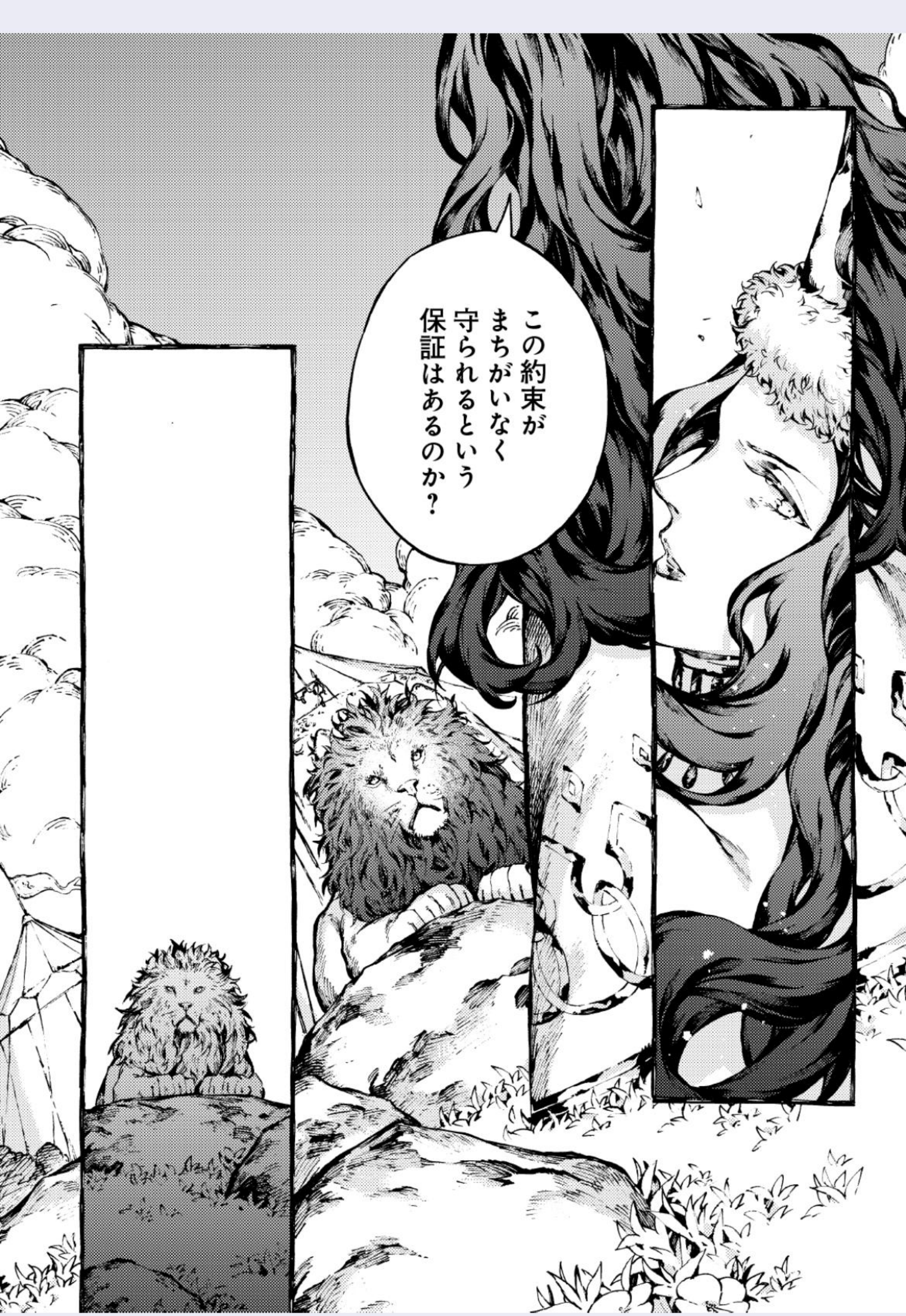


この者は

エドマンドの血を
要求する権利を
放棄した







この約束が
まちがいなく
守られるという
保証はあるのか？



